

2025 年 6 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社環境フレンドリーホールディングス
代表者名 代表取締役社長 車 陸昭
(コード：3777、東証グロース)
問合せ先 管理部長 中村 尚美
(TEL. 03-6261-0081)

Solariant Capital 株式会社との業務提携契約書締結のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、Solariant Capital 株式会社（本社：東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号六本木ヒルズ森タワー37 階、Daniel Sang Jo Kim、以下、「Solariant Capital」という。）との間で、種子島(鹿児島県)におけるバイオディーゼル燃料事業に関連する業務提携契約書を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本業務提携の目的及び理由

当社グループにおいて、持続可能なエネルギーソリューションの推進を目指し、連結子会社である株式会社 E F インベストメント（以下、「E F インベストメント」という。）、株式会社 E F エナジーおよび株式会社 E F でんきにおいて再生可能エネルギー発電設備（太陽光発電設備、バイオマス発電所、洋上風力）の取得・開発、運営業務を行っております。また、2025 年 2 月 3 日付「Solariant Capital LLC との業務提携に関するお知らせ」にて開示のとおり、Solariant Capital の株主である Solariant Capital LLC と当社は、バイオマス発電所、蓄電池発電所、太陽光発電所に係る業務提携契約を締結し、再生可能エネルギー発電設備の取得・開発、運営業務の拡大に取り組んでおります。

Solariant Capital は、アカシアや杉、バガス（サトウキビの残渣）などの木質バイオマスを原料に、バイオディーゼル燃料およびグリーンケミカルを製造する技術開発を大手商社グループと新たなバイオ燃料製造およびサプライチェーンの構築に関する基本合意書を締結し、製糖工場でサトウキビを圧搾した後の搾りかすであるバガスとウッドチップから製造したバイオ燃料でディーゼルエンジンを稼働する実証実験を開始しております。現在は、サトウキビ生産の北限で杉生育の南限である鹿児島県の種子島において、東京大学および国立研究機関が参画し、共同で実証実験を進めており、これらの製造技術については特許出願中です。

離島である種子島は本土からの輸送コストが割高になるため、将来目標としてクリーンエネルギー等による電源の多様化と環境負荷軽減を掲げており、同島で収穫できるサトウキビを利活用した電力調達の実現は大きな可能性を秘めています。

Solariant Capital が開発したバイオ燃料は、バガスやウッドチップを熱分解して生まれる炭化物を重油と混合したバイオマス比率 30%の「バイオマス石油混合燃料」を目指しており、今後炭化物に水を混合したバイオマス比率 100%の「バイオマス水混合燃料」の製造も目指しております。また、熱分解時に、炭化物と同時に精製される「揮発油」については原油代替活用を目指し、国内の石油精製メーカーなどと協働し、バイオケミカルの製造も視野に入れ、さらなる実証実験を進めています。2025 年 2 月 21 日に行われた初の燃焼実験ではバイオ燃料で発電機を 1 時間稼働させることに成功しており、今後、種子島でバイオ燃料の量産に取り組み、2030 年頃の実用化を目指しています。

また Solariant Capital は、国内で 3 件のバイオマス発電所（合計 152.5MW）の開発・資金調達に関わった実績があること、フィリピンからウッドチップの安定的な供給網を有しています。

当社としては、Solariant Capital との業務提携により、Solariant Capital が進める共同の実証実験に参画するとともに、実証実験の終了後、種子島でのバイオディーゼル燃料事業の事業化が進む段階において、事業の参画について協議をいたします。今回の実証実験で製造されるバイオディーゼル燃料は、既存のディーゼル燃料との混合適合性が高く、特に船舶用燃料としての活用が見込まれます。これは、国際海事機関（IMO）が掲げる「2050 年までに温室効果ガス排出量を 50%削減する」目標に対応したものであり、世界の海運業界における低炭素燃料の需要急増を背景に、バイオディーゼル市場の拡大が進んでいる中での取り組みとなります。当社としても、今後成長が見込まれる船舶用低炭素燃料分野への参入を通じ、「環境にやさしく」という理念に基づいた社会貢献に取り組んで行けるものと考えております。当社は今後、再生可能エネルギー生態系（エコシステム）の構築に向けて、発電所の資金調達、建設、売電、管理を自社で行えるよう取り組んでまいります。さらに太陽光発電所だけではなく、バイオマス、蓄電池発電所、洋上風力、小型水力など、多様な環境にやさしい電源を確保できるよう邁進しており、今回のバイオ燃料分野への進出は、当社のビジネスドメインのさらなる拡充につながるものと考えております。

2. 業務提携の内容

当社と Solariant Capital は、種子島におけるバイオディーゼル燃料事業に関する実証実験が終了し、事業化に進む段階において次の協業に関して協議いたします。

- ① 当社が、バイオディーゼル燃料事業の出資パートナーとして参画すること
- ② 当社と Solariant Capital は、プラント建設およびサプライチェーン拡大に対して共同投資を行うこと
- ③ 当社が、日本・韓国・中国市場における販売チャネルの構築および販売活動を支援すること
- ④ 当社が、本業務提携に基づく開発促進および市場参入を支援するためのファイナンススキームの提供・組成を行うこと

3. 本提携先の概要（2025年3月31日現在）

(1) 名 称	Solariant Capital 株式会社	
(2) 所 在 地	東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号六本木ヒルズ森タワー37 階	
(3) 代表者の役職・氏名	Daniel Sang Jo Kim	
(4) 主 な 事 業 内 容	再生可能エネルギー発電プロジェクトの企画・計画及び管理	
(5) 資 本 金	5,300 万円	
(6) 設 立 年 月 日	2015 年 9 月	
(7) 決 算 期	12 月 31 日	
(8) 大株主及び持株比率	Solariant Capital LLC 100.0%	
(9) 当 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と該当会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と該当会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき人的関係はありません。
	取 引 関 係	Solariant Capital の株主である Solariant Capital LLC と当社はバイオマス発電所、蓄電池発電所、太陽光発電所に係る業務提携契約を締結しております。また、E F インベストメントにおいて 2025 年 2 月に Solariant Capital が 100%出資している SOL 田原バイオインベストメント合同会社より、田原バイオマス発電所（愛知県田原市）に係る田原バイオマス発電事業向け匿名組合出資持分の 2.0%を譲り受けて取得しております。
	関連当事者への当該状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。

※最近3年間の経営成績および財政状態は、相手先の意向により公表を控えております。

4. 日程

- (1) 取 締 役 会 決 議 2025 年 6 月 30 日
- (2) 契 約 締 結 日 2025 年 6 月 30 日

5. 今後の見通し

現在 Solariant Capital が進めている実証実験への当社の費用負担は予定していないこと、バイオディーゼル燃料事業の本格的な開始は実証実験終了後であり、2030 年頃の実用化を目指していることから、2025 年 12 月期の当社連結業績に与える影響につきましては軽微であると見込んでおりますが、今後開示が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

以 上